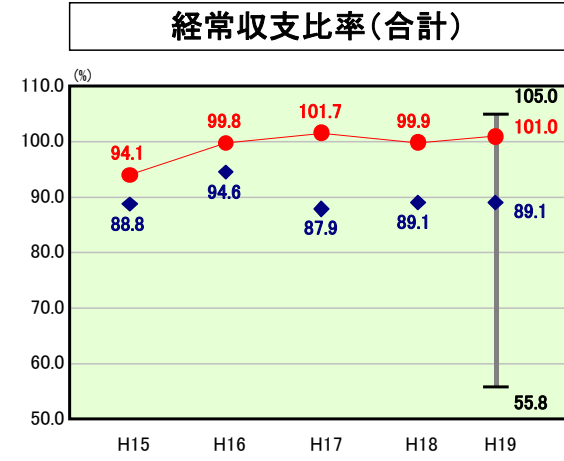


歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

福岡県 大任町

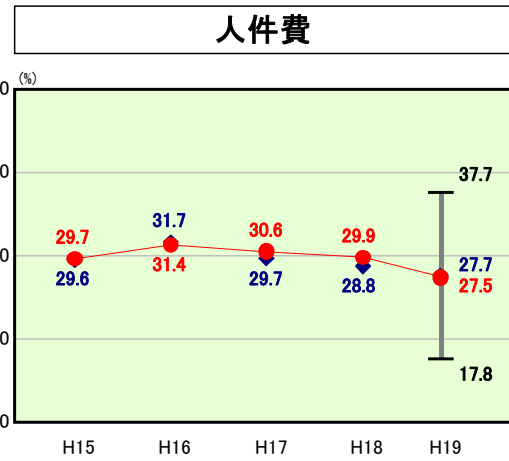
経常収支比率の分析



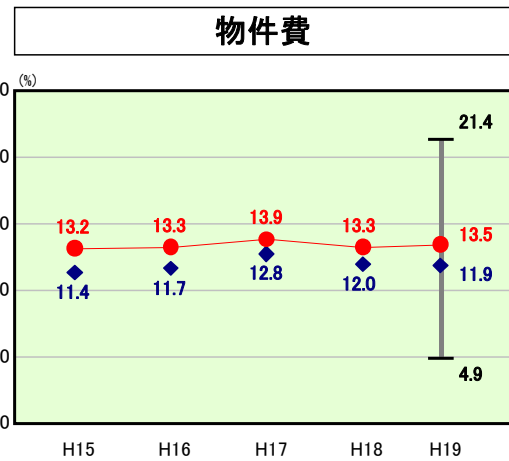
当該団体値 ●
類似団体内平均値 ◆
類似団体内最大値 ▮
類似団体内最小値 ▮

人口	5,908人(H20.3.31現在)
面積	14.24 km ²
歳入総額	4,697,014千円
歳出総額	4,490,452千円
実質収支	182,388千円

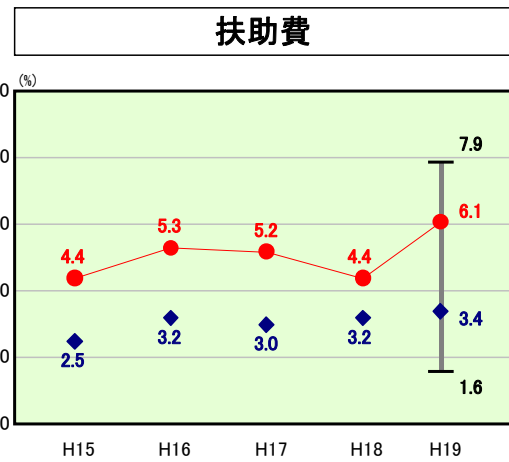
H19類似団体内順位 75/79
全国市町村平均 92.0
福岡県市町村平均 95.6



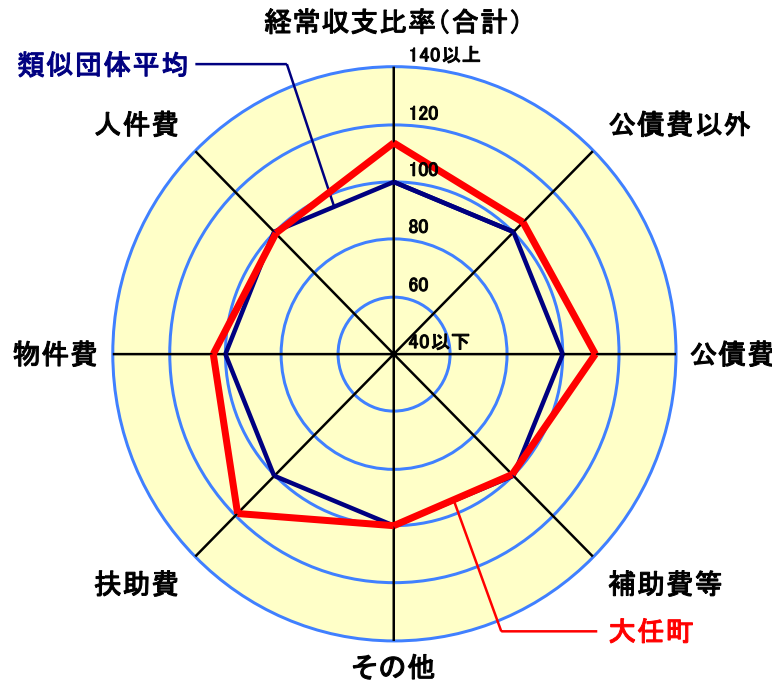
H19類似団体内順位 37/79
全国市町村平均 28.0
福岡県市町村平均 24.7



H19類似団体内順位 53/79
全国市町村平均 13.1
福岡県市町村平均 13.3



H19類似団体内順位 74/79
全国市町村平均 8.8
福岡県市町村平均 11.2



- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

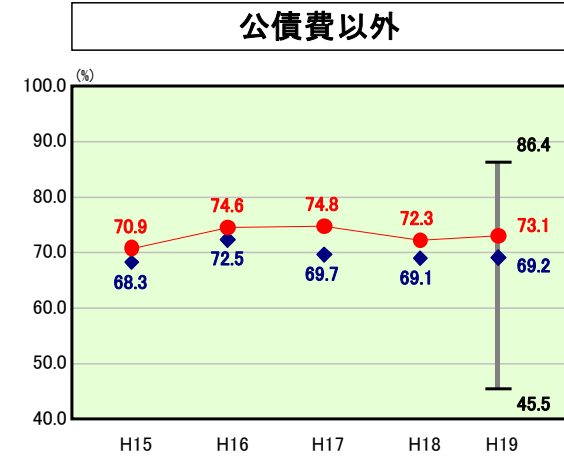
分析欄

○人件費
人件費に係るものは、類似団体と比較して平均水準であり、平成16年度以降減少傾向にある。要因としては、退職者に対し新規採用を抑え、職員数の少数化に動いていることがあり、職員のラスパイレス指数も類似団体平均92.4%と比較して6.2ポイント低い86.2%と低水準にあるということが考えらる。今後も退職者は増加していくが、行政サービスの低下にならないよう職員一人ひとりの資質の向上を図り新規採用を出来るだけ抑え、職員給与の水準も現状の水準を維持し、臨時的な業務については臨時職員を雇用するなど臨機応変に対応を検討していき、さらなる人件費の削減に努める。職員数の削減目標として、平成18年度 67名を基準として、平成21年度に1割減の60名を目標とする。

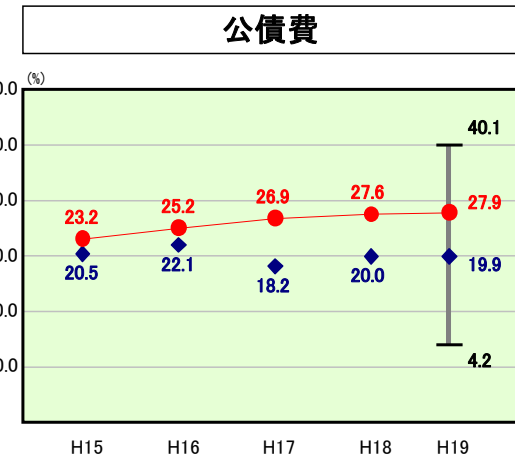
○扶助費
類似団体と比較して2.7%上回っている。主な要因として町内に幼稚園がないため、子どもを保育所に預ける傾向にあり、児童福祉費の保育所措置費が高くなっている。

○公債費
公債費の経常収支比率が27.9%と類似団体平均を8.0%上回っている。主な要因として、旧産炭地のため炭鉱閉山後さまざまな地域振興策として公共工事を行い、就労対策として特定地域開発就労事業を長年行ってきたことにより公債費の元利償還金が膨らんだものであるが、平成18年度をもって特定地域開発就労事業が廃止となったため、今後は同事業の起債残高は減少していく見込みである。また、平成12年度に過疎地域の指定を受け自立促進計画のもと平成21年度までの間、過疎対策事業により道路改良事業・公園整備事業を行っているところである。そのため公債費のピークは平成22年度となると見込まれ、それまでは公債費の経常収支比率はさらに上昇することが予想されるが、平成22年度以降は、地方債残高を削減するため、公債費の繰上り償還を実施していき、地方債の新規発行を伴う普通建設事業については抑制を行い、公債費の経常収支比率を類似団体平均の20%程度にするよう努める。

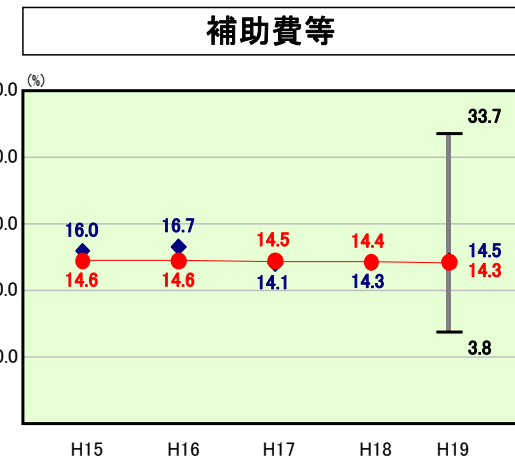
○普通建設事業費
平成19年度の人口1人当たり決算額は256,191円で、類似団体と比較して169,575円も高い。これは、公営住宅建設、過疎対策として道路改良事業等を行ったことによるものであり、公債費の増加に留意する必要がある。



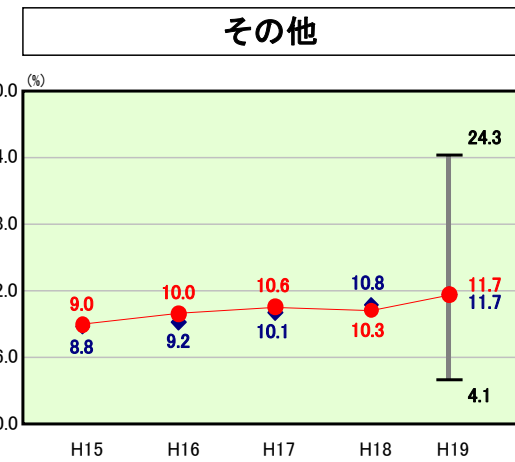
H19類似団体内順位 48/79
全国市町村平均 71.7
福岡県市町村平均 71.9



H19類似団体内順位 69/79
全国市町村平均 20.3
福岡県市町村平均 23.7



H19類似団体内順位 41/79
全国市町村平均 10.4
福岡県市町村平均 12.0



H19類似団体内順位 43/79
全国市町村平均 11.4
福岡県市町村平均 10.7